

バグダッド 日誌 (2月15日)

○ 〇〇の夜なべ

はいいつも明るく、「シャキシャキ」業務を実施し、バグダッド連絡班のムードメーカーである。また、大変研究熱心で、コアリションのそれぞれの部隊が持っている装具等をよく見ている。変わった装備をしている兵士を見つけるとずっと目で追いついて、更に検閲等にいる兵士が銃をどのように保持しているか、弾倉は装着しているか等研究に余念がない。散髪も得意で我々連絡班全員の散髪をし、自らの髪も見事にカットしている。衛生科職種のため、我々の健康管理にも気を配っている。多彩な才能の持ち主だ。

ただし〇〇にも弱点がある。それは、「英語」である。普段我々日本人に対しては、お笑いネタを提供しいつも和やかな雰囲気を出してくれるのだが、一度外国人との会話になると急に無口になってしまう。せつかくの〇〇のさまざまな才能が外国人には分かってもらえず、いつも残念に思っている。(ただし、昨日は小平で覚えたアラビア語を使って〇〇と友達になったと本人は思っていたが...)

本日はケーシ大將に対する各国の活動状況の報告書提出日であった。私が日本語で報告内容を起草して、サマーワの決済をうける。それをバグダッドで英訳してMNF-I司令部に提出している。私が諸調整・報告で英訳する時間がとれなかったため、〇〇にまかせる事にした。最初は不安気だったものの締め切りが迫っていたため、夜を徹して仕上げてくれた。英語に不安があるとのこと再度サマーワに送付し、通訳幹部に添削してもらったが、ほとんど訂正箇所がなく報告締め切りに間に合わせる事ができた。

今日も眠い目をこすりながら相変わらず「シャキシャキ」と仕事をし、笑いをふりまいている。ここに半年いて英語にも慣れれば「鬼に金棒」となるか？それともこのまま「引きこもるか？」本人の努力次第である。これから彼には英語の調整機会を多く与えてあげようと思う。

○ 小平学校アラビア語教育

小平学校語学教育部での事前訓練は本当に役に立ったと実感している。ここでの実務が全て英語なので英語教育が役だっているのは言うまでもないが、アラビア語も実に役立っている。小平で学んだアラビア語を駆使してイラク軍フダイエ少将と懇意になった唯一の日本人が〇〇だ。実は私もアラビア語を駆使してトイレ、シャワー掃除の現地使役のおじさんと懇意になった。私が行くといつもいて、あそこは水の流れが悪いからこっちを使えなどと教えてくれる。小平学校でアラビア語を真剣に学んだ成果は着実に出ている。改めて語学教育部長、室長、教官方そして〇〇先生、〇〇先生に感謝申し上げる。



バスラLO日々業務報告(2月15日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 (警戒態勢) :
2 特記事項	(1) (2)
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : 情報要約書、MND(SE)SITREP、MSR・ASR脅威情報等 (3) 定例会議への出席 : 幕僚会議、J2・J3・J9認識統一会議
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議
5 その他(備考)	